

簡単電池錠・楽楽電気錠

メインユニット・タッチボタン・シリンダー・サムターン取付説明書

■ 梱包明細

1 シリンダーセット

名称	入数	詳細
シリンダー	2個	シルバー/ブラック/ゴールド
主錠ケース	1個	-
補助錠ケース	1個	キー4本 オーナーキー1本
鍵セット	1セット	工事用キー(コンストラクションキー)/3本
ケース用取付けねじセット	2袋	M4×18皿小ねじ/各2本

シリーズ	ドア厚 (mm)
FACE リベールⅢ	40
FACE (プロテアステージ)	50
ジェイフォルム (グラッドステージ)	60
ジェイフォルム (イズムステージ)	70

2 電池/電気錠ユニット

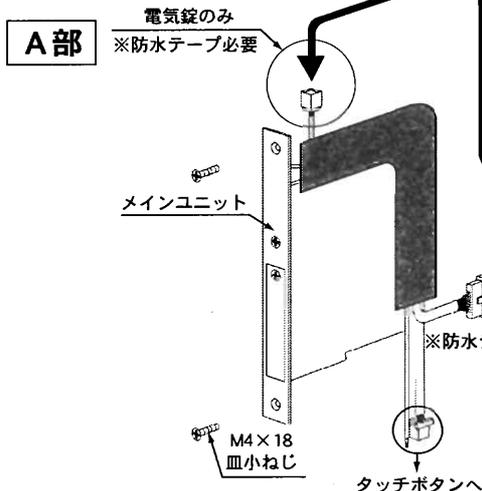
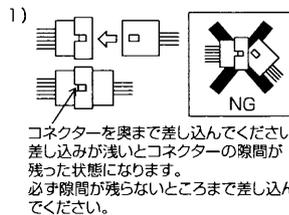
名称	入数	詳細
メインユニット	1個	電池錠用/電気錠用
タッチボタン	1個	シルバー/ブラック
固定プレート	1個	シルバー/ブラウン
電動サムターン	2セット	シルバー/ブラウン サムターンつまみ/各2個
メインユニット用取付けねじセット	1袋	M4×18皿小ねじ/2本 防水テープ/電池錠用1巻、電気錠用2巻
タッチボタン用取付けねじセット	1袋	M4×16トラス小ねじ/2本 取付スペーサー/2個
電動サムターン用取付けねじセット	2袋	M5×40又は60皿小ねじ/2本 M5×50又は70皿小ねじ/2本 M3×10バインド小ねじ/2本
インターフェイスユニット(電気錠ユニットのみ)	1セット	本体/1個、ねじセット/1個 2線変換コード/1本、JEMAコード/1本
屋内配線コード(電気錠ユニットのみ)	1本	5m

■ 取付け方法

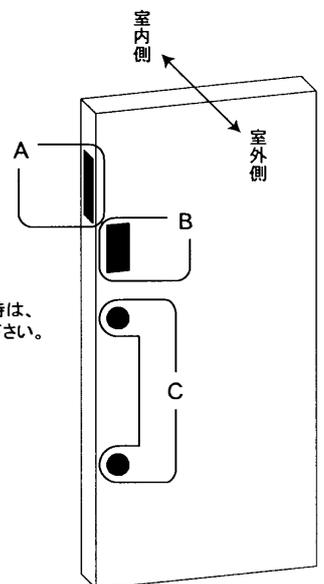
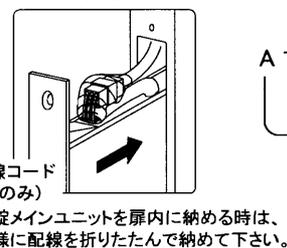
1 メインユニットの取付け

- ① ドア戸先側 A 部から引出したハーネスとメインユニットのハーネスのコネクターをしっかりと接続させてください。
※電池錠は1本(中継ハーネス)、電気錠は2本(中継ハーネス、扉内配線コード)のハーネスを接続してください。
- ② ハーネス接続部に防水テープを巻き付けてください。
- ③ 接続されたハーネスが扉内におさまるようにメインユニットを扉に組付けてください。
- ④ メインユニットを皿小ねじ(2本)にて固定してください。

防水テープの巻き付け

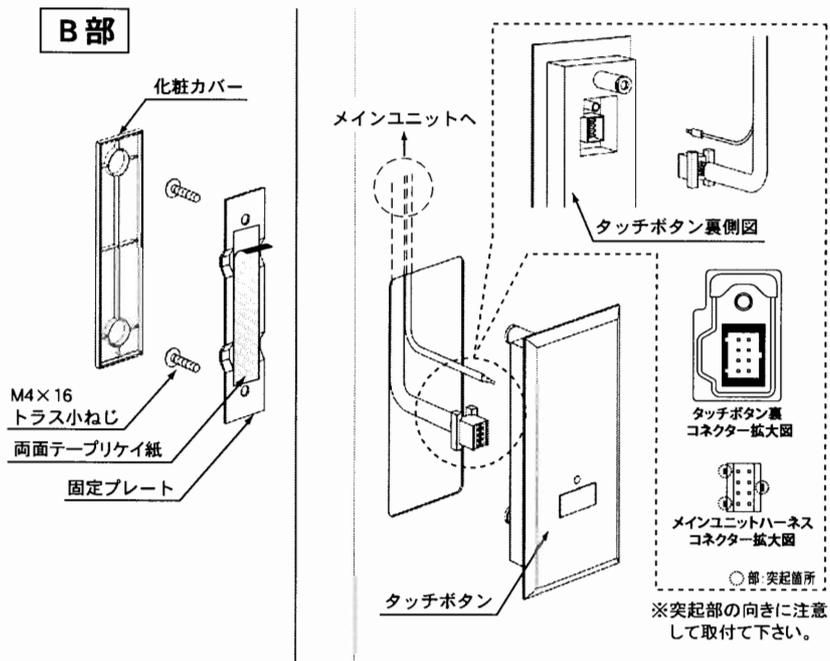


電気錠メインユニット 上部(扉内配線コード)拡大図



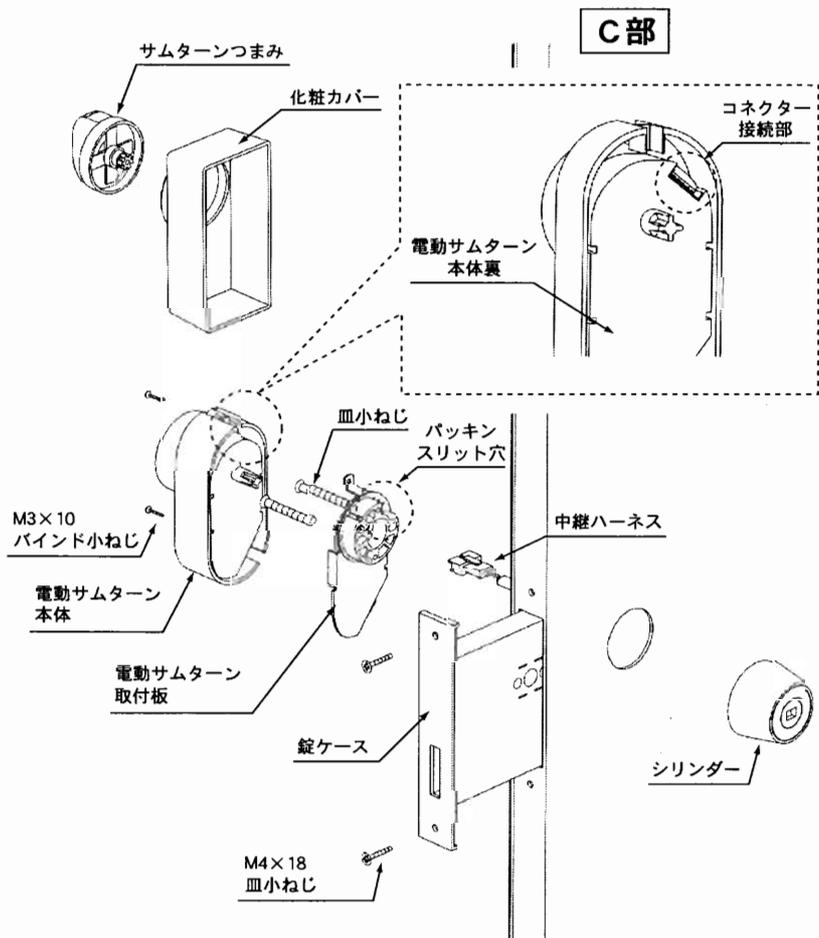
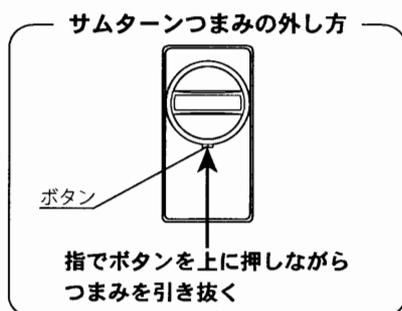
2 タッチボタンの取付け

- ①メインユニットからのハーネスをドア室外側 B 部切欠き穴から引き出し、タッチボタン裏側のコネクタにしっかりと差込んでください。
※コネクタの方向をご確認ください。
- ②タッチボタンを切欠き穴に組付け、保持してください。
- ③室内側から固定プレートの両面テープリケイ紙をはがし、トラス小ねじ (2本) にてタッチボタンを固定してください。
- ④固定プレートに化粧カバーをはめ込んでください。



3 錠ケース、シリンダー電動サムターンの取付け

- ①ドア室内側 C 部切欠き穴からハーネスを引出してください。
- ②錠ケースを扉に組付け、皿小ねじ (2本) にて固定してください。
※この時、錠前は解錠状態としてください。
- ③室外側シリンダーの切欠き穴にシリンダーを組付け、保持してください。
- ④電動サムターン取付け板のバックスリット穴に引出したハーネスを通し、シリンダーと取付け板を皿小ねじ (2本) にて固定してください。
※電動サムターンに上下の区別はありません。
- ⑤引出してあるハーネスを電動サムターン本体裏側のコネクタにしっかりと差込んでください。
- ⑥電動サムターン本体にサムターンつまみを差込み、つまみを縦に向けた状態で電動サムターン本体を取付け板にはめ込んでください。
- ⑦電動サムターン本体を取付け板にバインド小ねじ (2本) にて固定してください。
- ⑧サムターンつまみを一旦外し、化粧カバーをはめ込んでから、再度取付けてください。



4 電池錠メインユニットの電池の入れ方

1で取付けたメインユニットに電池を入れます

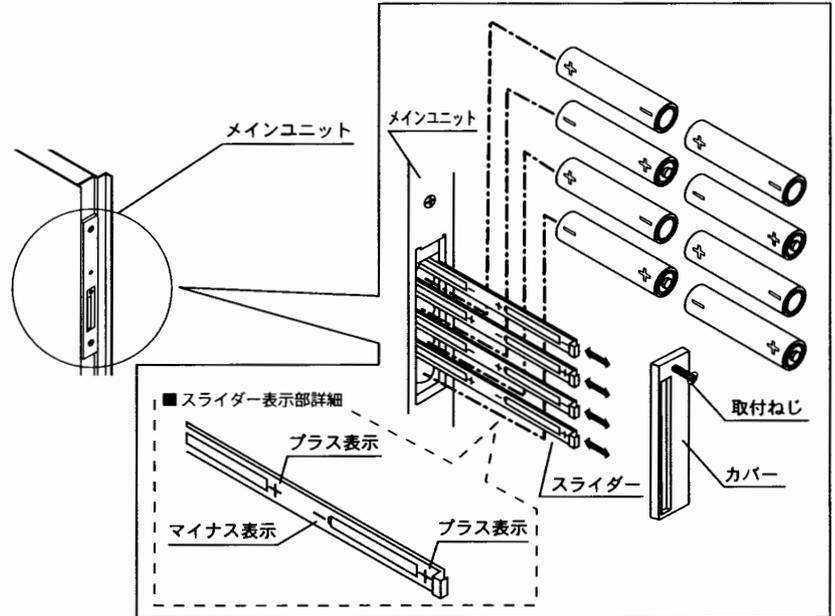
- ①メインユニット中央の電池ふた取付けねじをゆるめ、カバーを取外してください。
- ②スライダーを引出し、スライダーの表示に従い、電池の極性(+/-)を合わせて、電池をスライダーとともに挿入してください。
- ③電池ふたの下部を引っ掛け、ねじ止めしてください。

※電池錠メインユニット用電池：単3アルカリ電池、及び相当品

※スライダーを引出さずに電池を押込んだり、スライダーを強く奥まで押込むと、接触不良の原因となることがありますのでご注意ください。

※電池の破損、液漏れ、異常消耗の原因となりますので以下には十分ご注意ください。

- ・電池の極性(+/-)を入れ間違えないでください。
- ・新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。

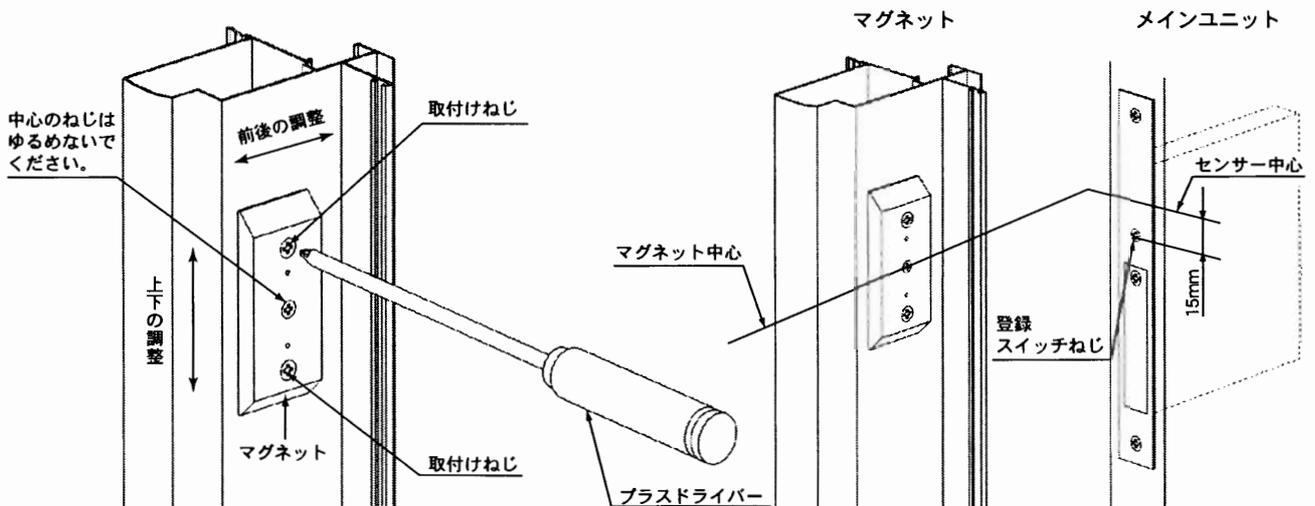


■調整方法

1 マグネットの調整方法

タッチボタン、及びリモコンで施錠操作が行えない時、マグネットの位置調整が必要な場合があります。

○取付けねじをゆるめて位置を調整した後、ねじを締め固定します。



※取付けねじは、外れるとマグネットを固定している枠内の取付け板が落下しますので外さないでください。

※扉側メインユニットのセンサー中心とマグネットの中心の位置が合うように高さ調整してください。

施工後は、必ず作動確認をお願いします。操作方法は取扱説明書をご覧ください。
なお、取付説明書はお施主様に渡しますので、汚したり、折れ目がついたりしないように注意した下さい。